



第173号

発行 高砂市防火協会

電話 079-447-1301

平成30年7月1日発行

平成30年度 全国統一防火標語 忘れてない?サイフにスマホに火の確認



平成30年4月18日(水) 定期総会

〈目 次〉

防火協会会長挨拶／平成30年度高砂市防火協会新役員事業所紹介	2
平成30年度 定期総会報告	3
平成29年 火災・救急・救助の概要	4
平成30年度危険物安全週間 高砂市危険物安全大会／平成30年度兵庫県危険物安全・安心大会	5
平成30年度水防訓練／違反対象物公表制度	6
平成30年消防記念日／高砂市危険箇所調査	7
告知板	8

火災の問合せ (テレドーム) 0180-997-022

防火協会会長挨拶

電源開発株式会社 高砂火力発電所
所長 中山英之



向夏の折、会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、高砂市防火協会の諸活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度4月18日の定期総会（於：鹿島殿）におきまして、会員皆様のご推薦を頂き、平成30年度防火協会会長に就任いたしました電源開発(株) 高砂火力発電所の中山でございます。微力ではございますが精一杯務めさせていただきますので役員共々よろしくお願い致します。

さて、皆さまご承知の通り、近年我が国では、地震や洪水、土砂崩れ、火山噴火など、至るところで大規模かつ予期せぬ自然災害が多発しております。幸いにもここ高砂では至近では大きな災害の発生はありませんが、弊社事業所も含まれる高砂市南部の沿岸地域は「兵庫県石油コンビナート等特別防災区域」に指定されていることから、災害リスクを認識しつつ、行政、地域住民の皆さまと私ども事業者が一体となった防火・防災への取り組みが重要と感じる次第です。

総会において承認されましたとおり、当協会は今年度より専門委員会の統廃合により新たな組織体制で運営していきますが、これまでと同様に、私ども事業者ができることを確実に実施しながら、火災は勿論のこと、大規模地震や風水害など多様化する災害に備えるため、新役員一同力を合わせて地域の発展、協会の発展に努めて参りたいと考えておりますので、今後ともご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年度 高砂市防火協会新役員事業所紹介

会 長	電源開発株式会社 高砂火力発電所	
副 会 長	新日本油化株式会社	
事 務 長	三菱製紙株式会社 高砂工場	
常任理事	A G C株式会社 関西工場高砂事業所	
	東洋紡株式会社 高砂工場	
	サントリープロダクツ株式会社 高砂工場	
	丸山印刷株式会社	
	ウシオ電機株式会社	
理 事	キッコーマン食品株式会社 高砂工場	高砂北部開発株式会社
	鹿島興産株式会社	株式会社タクマ 播磨工場
	東播電設工業株式会社	三菱日立パワーシステムズ株式会社 高砂工場
	株式会社カネカ 高砂工業所	兵庫南農業協同組合 伊保支店
	大橋石油株式会社	播州産業株式会社
	日本精化株式会社 高砂工場	黒崎播磨株式会社 高砂不定形工場
	株式会社神戸製鋼所 高砂製作所	
会計監事	三菱重工業株式会社 総合研究所	
	株式会社日本ネットワークサポート	

平成30年度 定期総会報告

平成29年度 決算

1 一般会計決算報告

(1) 収入決算額	2,693,726円
(2) 支出決算額	2,330,316円
(3) 翌年度繰越額	363,410円
(4) 決算内訳	

ア 収入内訳

項目	収入予算額 A(円)	収入額 B(円)	差額 B-A(円)	備考
前年度繰越金	576,215	576,215	0	
会費	1,927,000	1,925,000	▲ 2,000	退会
交付金等	95,000	95,000	0	勸県危協交付金
その他				
講習会費	30,000	37,500	7,500	危険物試験研修会 講習会費 3回 計74名
諸収入	60,000	60,011	11	しろはと会報広告等 預金利息
計	2,688,215	2,693,726	5,511	

イ 支出内訳

項目	内訳	予算額 A(円)	支出額 B(円)	差額 A-B(円)	備考
事業費		1,630,000	1,445,359	184,641	
	宣伝費	275,000	206,430	68,570	防災ポスター表彰式 火災予防PR用品購入費等
	講習会費	100,000	81,279	18,721	危険物資格取得講習会
	研究費	300,000	300,000	0	危険物安全大会、防火協会 HP立上費用
	報償費	5,000	3,240	1,760	防火ポスター表彰額縁
	印刷費	620,000	570,240	49,760	会報「しろはと」3回発行
	備品費	0	0	0	当面凍結とする
	助成費	210,000	210,000	0	自衛消防委員会、幼年消防 クラブ
	通信費	100,000	70,066	29,934	会報発送、会議案内、会費 納入等に係る郵送料
	諸費	20,000	4,104	15,896	振込手数料、交通費
業務費		375,000	362,597	12,403	
	業務費	200,000	199,420	580	総会資料、謝礼
	会議費	140,000	121,857	18,143	定期総会会場費 他
	諸費	35,000	41,320	▲ 6,320	封筒代、玉串料
会費		50,000	50,000	0	勸兵庫県危険物安全協会費
記念事業費		250,000	250,000	0	記念事業積立金
予備費		383,215	222,360	160,855	防火協会HP立上費用
計		2,688,215	2,330,316	357,899	

ウ 残金の内訳

三井住友銀行(高砂支店)預金	197,923円
J A兵庫南(伊保支店)預金	71,531円
現金	93,956円
計	363,410円

平成30年度 予算

1 一般会計予算報告

(1) 収入予算額	3,203,437円
(2) 支出予算額	3,203,437円
(3) 予算内訳	

ア 収入予算内訳

項目	H29年度決算額 A(円)	予算額 B(円)	差額 B-A(円)	備考
前年度繰越金	1,207,293	1,097,437	▲ 109,856	
会費	2,080,000	1,916,000	▲ 164,000	4社退費、自衛消防 委員会費廃止による
交付金等	95,000	95,000	0	勸県危協交付金
その他				
講習会費	37,500	35,000	▲ 2,500	危険物試験講習会
諸収入	60,017	60,000	▲ 17	しろはと会報広告等 預金利息
計	3,479,810	3,203,437	▲ 276,373	

イ 支出予算内訳

項目	内訳	H29年度決算額 A(円)	予算額 B(円)	差額 B-A(円)	備考
事業費		1,497,416	1,760,000	262,584	
	宣伝費	206,430	250,000	43,570	防火ポスター表彰式 火災予防PR用品購入費等
	講習会費	81,279	100,000	18,721	危険物資格取得講習会、 県危険物安全大会参加費
	研究費	300,000	300,000	0	勸県危協研修会、HP運用費、 危険物教育用テキスト購入
	報償費	151,751	165,000	13,249	操法競技会費用、防火ポ スター表彰額縁
	印刷費	612,966	645,000	32,034	会報「しろはと」3回発行、 消防新聞発行
	備品費	0	0	0	当面凍結とする
	助成費	60,000	60,000	0	幼年消防クラブ
	通信費	80,886	110,000	29,114	会報発送、会議案内、消防新 聞会費納入等に係る郵送料
	検査費	0	110,000	110,000	泡消火剤検査費
諸費	4,104	20,000	15,896	振込手数料、交通費	
業務費		362,597	375,000	12,403	
	業務費	199,420	200,000	580	総会資料、謝礼
	会議費	121,857	140,000	18,143	総会、役員会、各委員会 会議費
	諸費	41,320	35,000	▲ 6,320	封筒代、玉串料
会費		50,000	50,000	0	勸兵庫県危険物安全協会費
記念事業費		250,000	250,000	0	記念事業費積立金
予備費		222,360	768,437	546,077	自衛消防委員会繰越金合算 による
計		2,382,373	3,203,437	821,064	

記念事業特別会計予算総括

(1) 収入決算額	
①前年度繰越金	587,029円
②平成30年度積立金	250,000円
計	837,029円

※平成30年度から別会計であった自衛消防委員会特別会計を一般会計に組み入れた。

平成29年 火災・救急・救助の概要

《火災》

昨年に比べ9件減少しており、主な出火原因は放火（疑い含む）による火災が5件（1件増）で火災件数の22%を占めています。

1 火災件数

火災種別	件数	損害額(千円)
建物火災	12	39,895
車両火災	1	669
船舶火災	1	3
その他の火災	9	566
計	23	41,133

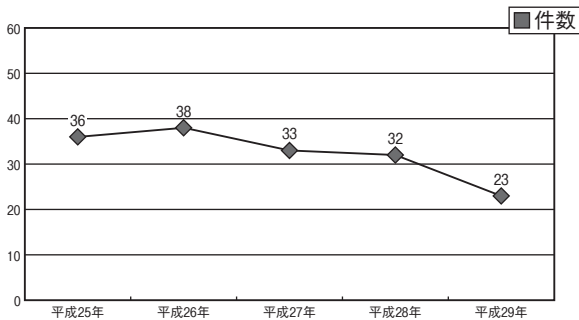
2 原因別件数

出火原因	件数	損害額(千円)
放火(疑い含む)	5	8,566
溶接・溶断の火花	1	274
電気	2	769
子供の火遊び	1	0
たばこの不始末	1	0
コンロ	3	273
その他	10	31,251
計	23	41,133

3 死者・負傷者等

区分	人数
り災世帯数(世帯)	13
り災人員(人)	34
死者(人)	4
負傷者(人)	3

4 過去5年間の火災件数の推移



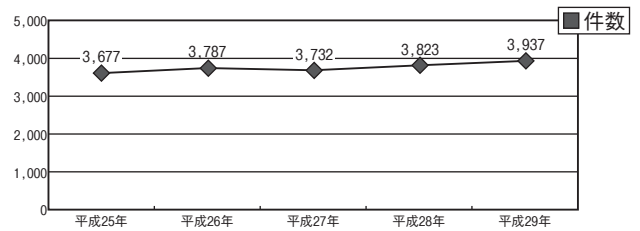
《救急》

昨年に比べ114件増加しており、主な救急種別は急病が2,542件（108件増）で、全体の65%を占めています。

1 救急件数

救急種別	救急出動件数(件)	搬送人員(人)
火災	11	2
水難事故	1	0
交通事故	389	373
労働災害	37	34
運動競技	25	24
一般負傷	565	518
加害	20	14
自損行為	33	23
急病	2,542	2,328
転院搬送	285	284
その他	29	2
計	3,937	3,602

2 過去5年間の救急件数の推移



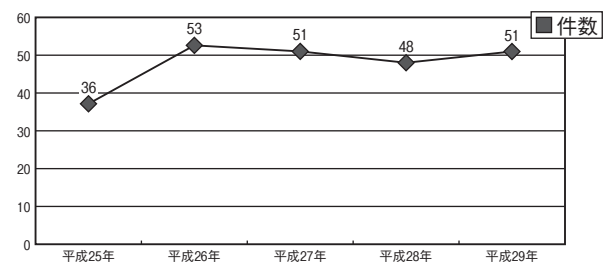
《救助》

昨年に比べ3件増加しており、主な救助種別はその他の事故が17件（6件減）で、全出動件数の33%を占めています。

1 救助件数

救助種別	救助出動件数(件)	救助人員(人)
火災	2	4
交通事故	16	8
水難事故	1	1
建物事故	15	14
その他の事故	17	4
計	51	31

2 過去5年間の救助件数の推移



平成30年度 危険物安全週間

平成30年度 高砂市危険物安全大会

「この一球届け無事故へみんなの願い」を推進標語として
6月3日(日)～6月9日(土)まで、危険物安全週間が展開されました。

また6月6日(水)には、高砂市文化保健センターにおいて「平成30年度高砂市危険物安全大会」が
開催されました。



受賞者の方々

危険物保安功労者表彰として、次の方々を受賞
されました。(敬称略)

【優良危険物事業所】

三菱製紙株式会社高砂工場

【優良危険物保安監督者】

大川博之

(AGC株式会社関西工場高砂事業所)

【優良危険物事務担当者】

横山和史

(東洋紡株式会社高砂工場)

平成30年度 兵庫県危険物安全・安心大会

6月7日(木)に兵庫県公館において、危険物保安功労者等として次の方々を受賞されました。

(敬称略)



【公益財団法人兵庫県危険物安全協会代表理事表彰】

優良事業所 塩谷運輸建設株式会社

優良危険物取扱者 川上 猛

(株式会社カネカ高砂工業所)

水防訓練

この訓練は、高砂市地域防災計画に基づき、出水期に備え、水防活動の充実及び水防意識の高揚を図るとともに各関係機関との連携強化並びに自主防災会、消防団員の水防活動における知識及び技術の更なる向上を図ることを目的とし毎年実施されています。

今年も5月27日(日)高砂市荒井町の加古川右岸河川敷において、高砂市、高砂市消防本部、高砂市消防団、高砂市内自主防災会、兵庫県消防防災航空隊から約200名の参加により訓練を実施しました。



水難救助訓練

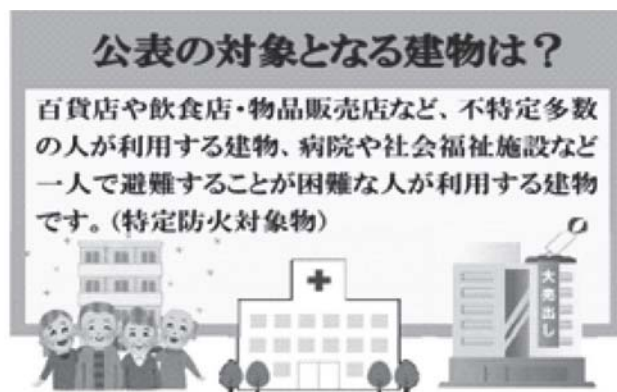


積み土のう作製訓練

違反対象物公表制度

違反対象物公表制度とは、建物を利用する人の安全・安心のため、重大な消防法令違反のある建物を高砂市のホームページで確認できる制度です。

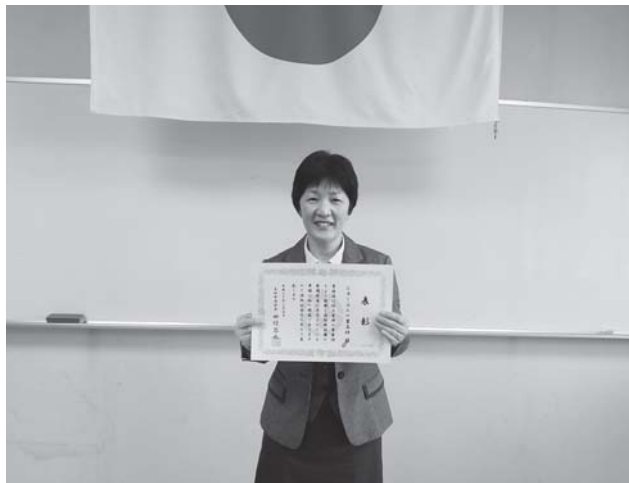
平成31年4月1日より施行され、公表内容は建物の名称、所在地、違反の内容です。建物の増築、接続、改築等により、公表の対象となる場合があります。建築関係者の方で、このような変更を検討されている場合は事前に予防課までご相談下さい。



平成30年 消防記念日

3月5日(月)高砂市消防本部で消防記念日表彰式が行われました。

消防施設整備優良事業所の表彰として、次の方が受賞されました。(敬称略)



受賞者

【消防施設整備優良事業所】

ふぁーみんの里高砂

平成30年度市内急傾斜地・ため池要注意箇所及び土砂災害危険箇所調査

5月24日(木)、出水期を控え災害の発生する恐れがある危険箇所等(市内27箇所)の調査を実施しました。

当日は関係機関26名で現場調査を行い、調査結果を踏まえ危険度判定の変更、次年度以降の対応について検討しました。

参加機関

・兵庫県東播磨県民局 ・高砂市消防団 ・高砂市消防本部 ・高砂市役所



告知板

▶救急救命士誕生◀



平成30年3月、幸川消防士長が救急救命士国家試験に合格しました。

高砂市消防本部では36名の救命士がおり、さらなる救命率の向上を目指していきます。

▶幸川消防士長から一言◀

昨年度、救急救命士養成所で第13期生として救急に関する専門的な知識、技術を習得し、救急救命士国家試験に合格しました。この資格で、様々な救命処置が行えるようになったので、習得した知識、技術を活かして救急活動を行ってまいります。

今後も自己研鑽を行い、自身の技術の向上を図り、また市民の皆様への心肺蘇生法や救急車適正利用の普及啓発を行い、市民サービスに努めてまいります。

▶平成30年度消防団献血◀

4月22日(日)、高砂市消防本部の訓練場で、輸血を必要とする方々の生命を救うことに役立つため、毎年実施しており、今年度で15回目になります。高砂市消防団員117名に献血を協力していただきました。

